科目名	同位元素利用学					英文表記		Isotope Utilization					2014/2/27		
科目コード	5406														
教員名:井口 亮 技術職員名:藏屋英介、渡邊謙太													作成		
対象学科/専攻コース						学年	学年 必・選		履修·学修 単位		単位	数 招	授業形態 授業期		
生物資源工学科							į	巽	履	修	2単	位	講義	前期	
科目目標	□位元素の特性、物質との相互作用、これらを応用した様々な領域における利用法について理解し説明できることを目標とする。														
総合評価	前期の定期試験(中間・期末)の平均の80%+提出レポート20%で評価し, 60%以上を合格とする.														
科目目標	科目	達成	度目標	(対応	するJABEE	るJABEE教育目標)			達成度目標の評価方				ī法 目標割合		
	① 同位元素の特性,物質との 定原理を説明できる.(A-3)					互作用	と測	⇒	正しく説明できるか定期 する.			定期試	式験で評価 30%		
達成度と JABEE目 標との対	2)利用法 きる.(<i>A</i>	およびリス・ \-3)	ク管理	につ	⇒	正しく説明できるか定期 する.			定期試	試験で評価 40%		
応	③ 同位元素利用で扱う数値計 きる.(A-2)					計算と処理がで			⇒ 正しく計算・処理できるか およびレポートで評価す						
本科 専攻科	1	2	3	4	JABEE :	プログラム4		4称 生物			三物資源	資源工学			
教育目標	0			0	JABEEプロ	コグラ	ム教育	育目標			A-2,	A-2, A-3			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合															
			目標と	−の関連	定期試験	小テスト		レポート		ての他(演官課題・ 発表・実技・成果物 集)		総合評価 せ		ソルフチェック	
評価項目			80		80	()	2		20 0		100			
基礎的理解			123 60		60	2		20		80					
応用力(実践·専門·融合) ②					10				1		10	0			
社会性(プレゼン・コミュニケーション・PBL)									0						
主体的・継続		2			740 7	T40 7 1 \ 2 -1/-				10		1HI 47 671 .HII			
授業概 要、方針、 履修上の 注意	定機 また、 複数	A授業では、産業界で囚範囲に利用されている同位元素や放射線の種類、特性、測定原埋および 定機器の利用法をについて講義し、生物工学等における同位元素の利用に関する基礎能力を養う また、農業や工業分野など社会における利用の現況も学ぶ。法令や安全取扱についても学習する 复数回、実習および学外見学を実施する。講義の一部および実習時は関数電卓あるいはPCを用し ので準備すること。									を力を養う。 学習する。				
教科書• 教材		自作プ 大学			ワーポイント	・による	プレー	ゼンテ	ーショ	ン資料	- 参考	図書:安	定同位	本地球化学	

授業計画										
週	授	業	項	目	時間	授業内容	自学自習 (予習・復 習)内容	セルフ チェッ ク		
1	ガイダンス				4	シラバス、同位元素の基本的な説明	安定同位体、放射性同位体			
2	元素と放射	肘線			4	放射性同位体と放射線の基礎	放射性崩壊、Sv、Bq			
3	放射性同	位元素	表の特	持性	4	放射壊変、半減期等の規則性	α崩壊、β崩壊			
	放射線測:				4	簡易型放射線測定器を用いた実習	ガイガーカウンター			
5	放射線の 放射線の	生態系	系影響	緊評価1	4	昆虫類に着目した放射線の影響評価	昆虫類、奇形率			
6	放射線の	生態系	系影響	肾評価2	4	過去の原発事故の生態系影響	福島原発、シジミチョウ			
	施設見学				4	ウリミバエ不妊化施設見学(予定)	不妊虫放飼法、Co-60	(
8	中間試験,	解訪	Ź		4					
9	安定同位	体の特	寺性		4	安定同位体の基礎	同位体、存在比			
	同位体測				4	ガスクロマトグラフィーによる同位体の観察	GC/MS			
11	同位元素の	の応月	Ŧ		4	同位元素を利用した年代測定・食物網解析	年代測定、食物連鎖			
12	中世ル系	לטוועט	עיייייין		4	同位元素を利用した年代測定とその応用	サンゴ礁、年代測定			
13		לטוועט	עי יייינו	ノコ帳	4	同位元素を利用した過去の津波の推定	津波石、トリウム			
14	同位元素(の応月	刊—屆	上生態系	4	女正问世体を利用した隆上土初における良物的胜	生物間相互作用			
	同位元素の					女 安定问位体を利用した两件土物における良物制度 転	生態系ネットワーク			
期末		期末	試験		[2]					
	学習時間合計 60 実時間 45									
	標準的所用時間(試行)									
						洪				

この科目はJABEE対応科目である。 その他必要事項は各コースで決める。この科目の主たる関連科目は生物工学(4年)、遺伝子工学(4年), 遺伝子工学実験(4年)である。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(45分=1、90分=2)